

# 非日常だからこそ変えられる

コロナ禍の経験・教訓を持続可能な次の発展へのステップに。  
そのために社会・企業・私たちに求められていることは。



桃井眞里子 氏

医学博士  
自治医科大学 名誉教授



上野幹夫 氏

一般社団法人 日本在外企業協会 会長  
中外製薬株式会社 代表取締役 副会長

## 現場の力で乗り越える

上野 2019年12月に中国で発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、翌20年3月には日本を含め世界中に拡大しパンデミックになりました。

第1回目の緊急事態宣言が出る少し前の4月上旬、中外製薬の社内に緊急対策本部が立ち上がり、私が本部長を務めました。最優先事項は何より感染者を出さないこと。ウイルスが正体不明で、世界中の専門家でもよく分からない。

そんな中で事業継続を図るためにはどうすればよいのか、各部門の責任者と対策を講じました。緊急対策本部は20年6月19日に解散しましたが、三密を避けるなどしてBCP(事業継続プラン)を実行することによって、その後9月まで1人の感染者も出さずに済みました。

緊急対策本部を解散した後は、各部門が本社と連携しながら現場の実情に合わせて様々な工夫をし、わが社の使命である安定供給の責任を果たしてきました。

日本国内ではこの2年間、感染者が増えるた